

① 園長先生が思う、ばんけい幼稚園の魅力は何ですか？

まず一つ目の魅力は、恵まれた自然環境の中で遊べることです。自然は最高の遊具であり、自然の中で遊ぶ体験は何事にも変え難く、遊びを通して色々な育ちができます。

風が吹いて気持ちが良い、風景が綺麗、生き物を発見して驚く、畑の作物をいただいて美味しい、有り難い…といった気持、感動、様々な感情、五感を中心とした感覚を培うことで、豊かな心を育てていけます。幼児にとっては「遊びが学び」です。様々な実体験を通して様々なことを学んでいきます。また手足や体幹、全身を起伏に富んだ地形でどう使うかを学びます。自然の中では身体と心がトータルで育ちます。自然の厳しさを知ること、身を守る為にどうしても守らなければならないことがあることも学びます。自然の中での活動では、時には「疲れた」「寒い」といった体験もしますが、その先に待っている楽しさや満足感を知り、厳しさというものを乗り越えるたくましさをも身につけ、自然の中で過ごすのは楽しいと思って欲しいです。自然に育ててもらっているというこの環境が魅力の一つです。

二つ目の魅力は様々な人との関わりがあることです。異年齢クラスでの生活やともに遊ぶことで、年上の子を見て自ら学び、「自分もやりたい」と意欲を持ちます。また、年下の子に手を貸す、待つ、許すといった姿がみられます。いろいろなペースの友達がいる事、そしてどう接していけばいいかを学んでいます。オープンスペースの環境と園バスの中で、担任だけではなく多くの教師や職員との関わりもあります。教師たちは担任以外の子供たちの姿も見つめています。

三つ目の魅力は、子供たち一人一人について真剣に考える教師たちと園の教育方針に理解を示してくださり、協力を惜しまない保護者との協力体制があることです。

人、環境、全ての関わりと実体験を大切にしています。

② 園長先生が思う、先生方の魅力は何ですか？

① の質問の答えと重複しますが、職員室では先生同士で子供たちのことをよく話していますので、他の学年の子供たちの情報も先生方が理解しようとしています。会議や研修の場以外にも、日常の会話の中に大事な情報があると考えています。バスの中の様子や、クラスの様子等、普段から情報を共有していますが、まだまだ情報共有の必要性を感じています。

担任の教師はクラスの子供たち一人一人のことをよく考えています。キャリアが長い先生の豊富な経験、若い先生のフレッシュな感覚と熱意、それぞれを大切に刺激し合っていけたらいいと思います。

そして、先生方は、ばんけい幼稚園が好きで、この環境で子供たちと遊ぶことが大好きです。

- ③ ばんけい幼稚園ならではの教育方針は何ですか？また小学校入学に向けて子供たちに学ばせたいことは何ですか？

幼児期では遊びの中に沢山の学びがあります。実体験を通して、面白かったり、感じたり、考えたり、嫌な思いをしたりといった思考が伴うことで子供は理解します。経験、理解を増やしていくことで物事の想像がつくようになるのです。例えば「こんなことされたら嫌でしょう？」とか「パイプは傾けないと水はながれないでしょ？」といった言葉も想像を伴う理解ができるようになるのです。

この時期は知識というよりも、生きていく上での知恵を学んで欲しい。山の坂道を歩く時、どうすれば転ばないで歩けるの？こんなことをしたらみんなが困るね、ルールを守らないといけないね。水をどうやって運ぼうか？穴が空いた鍋に水を入れると水が漏れるね、虫はどこに行けばいるの？塩ビ管をつないで水を流すにはどうしたらいいかな？というように、幼児期には実体験が大事だと考えています。心と身体、人との関わり、環境を通じて人としての根っこを育てていきたいです。

これからコンピューター社会の中で生きていく子供たちに、幼児期に自然の中で遊ぶことの楽しさや気持ちよさ、自然に癒されることを知った上で生きていって欲しい。将来、その体験が心の支えになったり、身を守ることに繋がったりもします。そういうことを知った人にコンピューターを扱って欲しいと思います。

園では遊びの中の実体験で学ぶことを大切にしているので、机上でのお勉強はしませんが、だからといって、文字を全く使用しないのではなく、図鑑や絵本を身近に置いたり、虫クイズなど文字とイラストを添えて書いて貼っておく、遊びの中で、僕、この看板の文字が書きたいと言ってきて、実際に文字に興味を持つきっかけになったりなど、環境に文字を置いておくことはあります。遊びの生活の中で数についても学んでいます。何人対何人でゲームをすると、こっちの人数が多い少ないとか、おやつは一人何個とか。このように、遊びや生活の中で、文字や数ばかりではなく、子供の興味が広がる準備、種まきをしています。

小学校に入って集団生活の中で困らないように、ルールやマナー、自分のことは自分で出来ることが身につくように取り組んでいます。社会生活の中で色々わかって出来ること、友達と関わって楽しく経験出来ること。困ったりわからないことを先生に聞けること。幼児期に先生に困ったことを言ったら、教えてもらえたという経験、信頼関係は大事ですね。

④ 最後に保護者さんに伝えたいメッセージをお願いします。

子供との生活はとても楽しく素晴らしいものです。しかも子育ての期間はさほど長い時間ではありません。

しかし、子育ては時に大変で、悩むことも多いと思います。でも、一生懸命考え子供と向き合っていくのがいいのだと思います。その過程を経ているうちにふと子供が成長したなと感じる時があると思います。

どうか一人で思い悩まず、周りの人や教師にも相談してください。共に子育てをしている仲間もいます。共に楽しみ、共に悩み、共に子育てをしていきましょう。